



隙駒駸々一年強半茲之過

早之酷暑之候之想成を處

盟兄迄の健勝を國家を以て

府下の手の氣候順適に於て初

等之極なき趣にあり先

是より先公成一層の如

鬼自由の愛に極るも此地

氣候以上大に宜しに際して

甚強健常之者母膝下侍り

傍ら地方之情況を觀察し精

費止し音し如何に要らんと

今少くも舊及生産的

事業を勉勵せしめ地方自

治精神を進め國民自立

世海便幸之者母膝下侍
傍う地方、情況ヲ觀察シ
費止心ヲ以テ、抑々要ら
ず少くも、舊業生産的
事業ニ勉勵セシメ、地方自
治精神ヲ進メ國民自立
潔白ノ氣象ヲ養ヒ之實
政體ノ十ニ五ノ成リん、おな
りおなすコト思フハ、為ニ難カラ
トお考も、高海ヲ請フ者
時不ツクニ舞、旁々於
その心ヲ以テ、
七月 廿日

直叙

大隈仁兄様

二白末高上様ニ此
中祈
御母公并合家人
以迄所々お礼